



ミライエ

観音寺の輝く未来へ 市議会の動きをわかりやすくお伝えします

12月定例会のあらまし …… 2
(議長あいさつ)

一般質問 …… 5

審議結果 ……11



人口 56,361 人
(2025.1.1現在 内外国人1,455人)
(対10月比 127人減)

検索 観音寺市議会

写真の紹介

「雨音と色」

観音寺総合高等学校 2年 吉實 璃子

父と出掛けた時に撮った一枚です。雨が降っていたのですが、その雨が降っている雰囲気と、周りの木の色や人が建物の中心に立っている構図がとても綺麗だと思い撮りました。雨が苦手な人も多いと思いますが、雨が降っている景色も魅力的だと伝わると嬉しいです。



副議長
井下 尊義



議長
豊浦 孝幸

議長に豊浦孝幸氏
副議長に井下尊義氏を選出

市民の皆さまには、平素より本市議会に對しまして、格別のご支援とご厚情を賜り御礼申し上げます。

この度、私どもは12月定例会におきまして、議員各位の推挙により、議長・副議長の大役を仰せつかりました。身に余る重責でございますが、誠心誠意、市の発展のため職務邁進して参ります。

新型コロナウイルスがら類感染症になり、市民生活も平常に戻りつつありますが、市民の生活は物価高騰により厳しい現状が続いております。市当局も、地域経済活性化や市民生活向上につながる施策を打ち出してはおりますが、まだまだ充分ではない現状です。

二元代表制の一翼を担う議会としても、市民の声を聞きながら開かれた議会と近隣市議会との連携を取りつつ持続可能な観音寺市を目指して参ります。

引き続き皆様のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いたします。

観音寺市議会委員会名簿

常任委員会

総務	委員長	篠原 和代
	副委員長	金丸 康剛
	委員	石山 秀和
	〃	伊丹 準二
	〃	藤田 均
	〃	豊浦 孝幸
	〃	柳生 紘明

文教民生	委員長	篠原 重寿
	副委員長	合田千佳子
	委員	大平 直昭
	〃	詫間 茂
	〃	白川 雅仁
	〃	三好 優子

広聴広報	委員長	岸上 政憲
	副委員長	篠原 重寿
	委員	大平 直昭
	〃	白川 雅仁
	〃	合田千佳子
	〃	土田 祐司
〃	柳生 紘明	

議会運営委員会

委員長	大矢 一夫
副委員長	石山 秀和
委員	大久保隆敏
〃	大平 直昭
〃	立石 隆男
〃	合田 隆胤
〃	岸上 政憲

特別委員会

新道の駅調査特別委員会	委員長	立石 隆男
	副委員長	詫間 茂
	委員	委員長・副委員長を除いた全議員(18名)

建設経済	委員長	合田 隆胤
	副委員長	岸上 政憲
	委員	大久保隆敏
	〃	大矢 一夫
	〃	立石 隆男
	〃	井下 尊義
	〃	土田 祐司

お知らせ

本議会だよりでは、提出議案の一部を掲載しております。その他、議案などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。



12月定例会の主な議案

Pick up!

－議案第61号－

専決処分の承認について
(令和6年度観音寺市一般会計補正予算(第6号))

衆議院議員選挙費 3,857万円

- 衆議院議員選挙に要する費用に予算措置を行うもの。

－議案第66号－

観音寺市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

- 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の規定により、観音寺市過疎地域持続的発展計画で定められた旧豊浜町地域の振興すべき業種(製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業、旅館業)の固定資産税を課税免除するためのもの。

－議案第69号－

教育委員会委員の任命について

- 現職の任期満了に伴い、後任委員の任命に同意した。

いしい みち
石井 乃満 氏

－議案第74号－

指定管理者の指定について(道の駅「とよはま」)

- 2者の応募があり、プレゼンテーションの結果、現在の指定管理者が引き続き運営する。

期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日

定例会が12月3日から12月20日までの18日間の会期で開かれた。提出された議案のうち、人事案件3件を初日に同意した。一般質問では10日に12人、11日に6人が市政についてたずねた。各常任委員会では付託された16議案について審査した。最終日には、各常任委員会付託議案を原案のとおり承認・可決・同意した。また、監査委員の選任を含む14議案が追加提出され、13議案は原案のとおり可決、1議案は反対多数で不同意となった。

Pick up!

－議案第75号－

令和6年度観音寺市一般会計補正予算（第7号）

がんばれ観音寺応援寄附金（ふるさと納税） 8億5,000万円

- 当初の予定より多くの寄附金が見込まれるため増額するもの。

寄附金見込額：14億円→22億5,000万円

合併20周年記念事業 46万円

- 合併20周年記念を周知するための「のぼり」や「ポスター」の制作と、年度内に市内各種団体代表者などで構成する検討委員会の開催費用に充てるもの。

地域計画実現化促進生産基盤整備事業 1,050万円

- 将来的に農地が利用されやすくなるよう、農地の集積・集約化の促進に向けた土地改良区が行う圃場整備事業などに補助金を交付するもの。（補助率は、県が60%、市が30%）
実施地区：安井地区(大野原町)、上田井上地区(豊浜町) 事業費合計：3,500万円

伊吹漁港改良事業 1,050万円

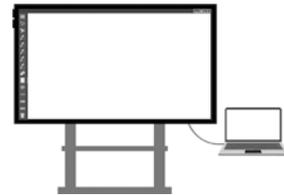
- 伊吹漁港33号護岸が経年劣化しているため、県の補助を受けて改良工事を実施するもの。

伊吹地域漁港整備事業（特定） 3,500万円

- 北浦地区での浮棧橋の整備において、国の補助金の追加配分を受け、令和7年度当初予算の前倒しで杭製作を実施することにより事業の進捗を図るもの。

電子黒板購入事業 小学校 398万円（9校）
中学校 221万円（5校）

- デジタル教科書の長所を生かすため、寄附金を活用して電子黒板を購入するもの。



文化振興基金積立金 200万円

- 地域文化振興を目的として寄せられた寄附金を後年の事業に活用するため、基金に積み立てるもの。

図書館費 8万円

- 2つの団体からの寄附金を活用し、児童書を購入するもの。

－議案第76号－

令和6年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

社会保障・税番号制度システム整備費補助金 639万円

- マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴うシステムの改修に係る国庫補助金（補助率100%）であり、三観広域電算センターへシステム改修費用として支出する。



茂 諒問
自民新政法

ナトカリ比を活用した事業の取り組み状況を問う

答 弁

現在実施している事業に取り入れ、生活習慣を見直す動機付けに活用していきたい

〔質問〕 ナトカリ比（ナトリウム・カリウム比）を学ぶことを通じ食生活改善への意識向上を目指す。

単に食塩の摂取を減らすだけでなく、野菜や果物からカリウムを多く取ることでナトリウムの排泄を促し、おいしく無理なく減塩が続けられるとの情報もあるが、市としてどのように市民に周知するのかを問う。

〔答弁〕 厚生労働省によるとナトカリ比とは、塩分（ナトリウム）と野菜や果物から取るカリウムの摂取バランスを示す指標で、「ナトカリ比」という測定器を使用した尿検査により測定できる。

塩分の取り過ぎは高血圧を引き起こし、脳血管疾患や心疾患、腎臓病などの原因になる。

一方、野菜などに含まれるカリウムは、余分な塩分を排出して血圧を下げると言われている。

野菜の摂取状況を数値化できる測定装置「ベジメータ」を併せて活用することで、市民の皆さまの食生活への意識向上を図りたいと計画中である。健康寿命の延伸につながるよう、広報紙なども使い、より一層工夫を凝らしながら健康づくりの取り組みを進めていく。



白川 雅仁
公明党

骨髄移植などの医療行為により免疫を失った方へのワクチン再接種支援を進めている

答 弁

準備を進めている

〔質問〕 骨髄移植を含む造血幹細胞移植では、移植前に受けた予防接種により免疫が付与され、患者の体内に存在していた血液細胞が消失し、ドナー由来の新たな血液細胞が産生される。

移植された造血幹細胞由来の血液細胞は免疫力を持っていないため、患者は、感染症に罹患するリスクが高い状態が継続することになる。

このため、移植後に予防接種を行い、新たな血液細胞に免疫能を付与しなければいけない。しかし、予防接種法では再接種を想定していないため、全額自己負担となり、経済的負担がかなり大きい。

患者の経済的負担の軽減および感染症への罹患防止を図るために再接種に係る費用を補助するべきではないか。

〔答弁〕 免疫が消失すると、感染症に罹患する可能性が高くなるため、患者の多くが再度予防接種を受けて免疫を獲得することを希望するが、接種費用の全額が自己負担となり、経済的な負担が大きいと認識している。

「ワクチン再接種への支援」については、経済的負担の軽減を図るため、治療医に再接種が必要と診断された方への費用の助成について準備を進めている。



金丸 康剛
創風会

ため池の維持管理をただす

答 弁

現在、県と協議を進めている

〔質問〕 ため池などの維持管理のうち、受益者による除草作業については、作業者の高齢化が進み、体力が奪われる夏場の作業が人命に関わる事故につながりかねない状況である。何らかの対応策を検討しているのかを問う。

〔答弁〕 農業従事者の減少や高齢化のため、地域農業者による管理は困難になりつつある。現在、リモコン式草刈機※1の導入補助制度について県と協議を進めている。

〔質問〕 中小企業振興を重要視する立場から問う。① 凧瀬町の埋立地を今後拡大し、海上輸送の拠点として整備する予定はあるか。② 歯止めが利かない経費上昇を価格に転嫁できない農業者は多い。「儲かる農業」の実現に向け、市はどう取り組むのか。

答 弁
関係機関と検討および協力して支援を行う

〔答弁〕 ①現時点では岸壁が整備されておらず、貨物輸送の拠点として想定していない。地域経済成長の基盤とすべく、海上輸送や貿易事業の費用対効果と整備の必要性を港湾管理者の県と協議・検討する。②地域農業維持のため、県や農協と協力し、地域農産品のブランド化、販路拡大の支援を引き続き行う。



※1 リモコンによる遠隔操作で、急傾斜地や人が入りにくい場所での作業が可能な草刈機。機体から離れた安全な場所で操作して除草ができる。



篠原 和代
創風会

ヘルメット購入への補助金の検討状況を伺う

【質問】 自転車事故の多発によりヘルメットの着用は努力義務になった。令和6年4月から県内高校の自転車通学生への購入費補助が県により実施されたが、本市でも市民の安全のために導入していただきたい。

【答弁】 全ての自転車利用者に対して、ヘルメット着用が交通事故の被害軽減につながることを認識いただき、常時着用を意識付けることが重要である。そのため、他市町の状況を参考にし、補助金の導入に向け検討している。

災害時における女性防災士の役割と、本市の防災士の現状を伺う

【質問】 本市の防災士の人数は。また、女性防災士の育成やその役割について、市の考えを伺う。

【答弁】 令和6年10月現在、本市に住居か勤務地がある防災士有資格者は、男性113名、女性21名、合計134名である。女性防災士に役割や対応の設定・制限は特に無いが、避難所開設時には女性特有の視点からの運営や活動が期待される。

【質問】 女性地域活動隊の活動は、共助の多様性につながる取り組みである。個人の意思により継続可能な活動を地域で行う人々が増え、今後の本市の防災力が向上することを期待する。



大平 直昭
創風会

放課後児童クラブの弁当提供実証実験の結果を踏まえた今後の取り組みは

【質問】 放課後児童クラブの弁当提供については、保護者からの要望がある中、今年の夏休み期間中に実証実験が行われた。その概要と結果、それを踏まえての今後の取り組みについて伺う。

【答弁】 今年の夏休み期間中に市内公立12教室と一ノ谷なかよし教室の計13教室で、スマートフォンなどのアプリを活用したお弁当配達サービスの実証実験を実施した。開所した月曜日から金曜日までの延べ26日間実施し、放課後児童クラブの登録児童数578人に対し、289人(50%)の保護者が利用登録しており、利用総数は2291食、一日平均88.1食の利用があった。利用後のアンケート結果からは利用者の約88%が「満足」または「ある程度満足」と回答し、継続を望んでいることが分かった。

来年度以降においても、アンケート結果を踏まえ、メニューの改善などを図りながら継続実施していきたいと考えており、既に保護者の皆さまにお知らせしている。



石山 秀和
公明党

奨学金返還支援制度の創設をただす

【質問】 若者の負担軽減と地方定着を見据えた支援制度は。

【答弁】 就業や居住要件、申請可能年齢、支援金額、支援期間、申請開始の時期など、本市が移住定住の地としての選択肢となるような制度にする。

【質問】 地震発生時の電気火災防止対策をただす

【答弁】 感震ブレーカー※2の購入費用補助制度に取り組む

【質問】 感震ブレーカーの設置支援事業について伺う。

【答弁】 国の防災基本計画にて、普及促進について示されたことを踏まえ、地震火災の防止対策の一助として、関係機関と連携調整して制度作成に現在取り組んでいる。



【質問】 インバウンド観光客を取り込む戦略について伺う。

【答弁】 観音寺駅とのシャトルバス運行や高松空港へのバスの乗降場、観光バスの駐車場の整備を予定している。広域連携による観光ルート創設に向け、事業者と連携して取り組む。

【質問】 観音寺駅とのシャトルバス運行や高松空港へのバスの乗降場、観光バスの駐車場の整備を予定している。広域連携による観光ルート創設に向け、事業者と連携して取り組む。



※2 設定以上の揺れを感知した際に自動的に電気を止めるブレーカー。大きく4タイプあり、形状・費用・電気工事の必要性などが異なる。



岸上 政憲
自民新政治家

柞田町山田地区の浸水
対策として、山田川ポン
プの自動化を提案する

答 弁
地元要望、水利組合と協
議していきたいと考える

〔質問〕 柞田川下流と
山田川下流合流地点
は、田んぼと宅地が
混在し、年1回は必
ず浸水する地域であ
る。

浸水の構造は、「雨
が降り続き柞田川の
水位が上昇→柞田川
に流れ込めず山田川
の水位が上昇→山田
川に流れ込むはずの
支流が滞留して浸水する」というものである。

令和2年に排水用の山田川ポンプを設置した
が、手動で起動し、水位が下れば自動的に切れ
る仕組みである。①管理者の高齢化②雨の降り
方や上流の宅地化による水系の環境の変化など
を鑑み、浸水時間の短縮化のためにも、山田川
ポンプの自動化を提案するが、市の考えを問う。
〔答弁〕 近年の降水量増加、柞田町黒淵地区・
北岡地区上流方面からの流入水量の増加があり、
令和2年度に山田川ポンプを設置し
た。今後、自動化について地元要望
があれば協議していきたいと考える。



井下 尊義
創風会

交流人口を増やす政
策をただす

答 弁
来訪者にも市民にも市の魅
力を十分に伝えられるよう、
今後も取り組んでいく

〔質問〕 交流人口を増やす取り組みの一つとし
て、スローサイクリング※3によるまちなみ散策
を策定したが、その目的と、今後どのように拡
大していくのかを問う。

また、より効果的な取り組みにするため、観
音寺駅から港までの経路にWiFiを整備し
てはどうか。

〔答弁〕 現在、市内のレンタサイクルの利用者
は年間2500名を超えるが、目的地までの移
動手段としての利用が大半である。

今回の政策は、来訪者の回遊性を高め、本市
の魅力再認識していただき、市街地を含めた
市内全域のにぎわい創出と健康づくりを目的と
している。今年度は「歴史文化コース」「ま
ちなみ散策コース」「有明浜周遊・体力づくり
コース」の3コースを設定し、観音寺駅、大正
橋プラザ、協力事業者などにコースマップ（紙
版）を設置するとともに、 구글マイマップ
を用いたデジタルでの情報提供も併せて行っ
ている。
WiFiなどのインフラ整備は重要と考え
ており、設置を前向きに検討する。



立石 隆男
創風会

公共交通の状況は

答 弁
のりあいタクシーの実証
実験を開始する

〔質問〕 令和7年1月開始の、のりあいタクシ
ー実証実験の概要について伺う。

〔答弁〕 のりあいタクシーの実証実験を行う。運
行は、令和7年1月6日から令和8年3月末ま
での期間中、年末年始を除く月曜日から金曜日
に、あらかじめ定められた地点のみで乗り降り
が可能な事前予約制の1日5便制である。利用
日1週間前から前日午後4時までに電話予約を
いただき、予約の無い便は運休する。実証実験
後は、のりあいバスの路線再編を行いつつ、
デマンド型交通※4への一部転換を進めたい。

市の経済対策は

答 弁
「銭形Kコイン」アプリで
経済を活性化させる

〔質問〕 本市の「銭形Kコイン」アプリの状況
について伺う。

〔答弁〕 「銭形Kコイン」アプリ利用登録店舗数
は323店舗である。アプリを利用した電子地
域通貨「銭形Kマネー」のチャージは、市内の
スーパーマーケットなど8店舗のチャージカウ
ンターなどで行える。また、アプリでは子育て
家族応援チケットや出産・子育て応援ギフトの
デジタル給付も行っている。

今後は、チャージ可能店舗数の拡
大、電子決済サービス機能の充実、
給付金や各種補助金のデジタル給付
など、デジタル化促進ツールとして
アプリを活用する。



※3 自転車の種類を問わず、個人の
ペースでゆっくりと楽しむサイクリ
ング。自転車散歩。

※4 利用者からの予約に応じて運行する時刻や経路が変わる交
通方式。タクシーとの違いは、決められた停留所間のみの運行
であることや他者と乗り合わせる可能性があること。



土田 祐司
創風会

若年者層への就職支援を問う

答 弁

市内企業と就職希望者が相互に情報発信できるLINEオープンチャットを創設予定である

〔質問〕 大学進学を機に若者が都市部に移り、地元に戻らず都市部で就職する状況は本市も例外でなく、人口減少が進む中、生産年齢人口の減少に拍車をかけている。県外に出た若者に地元での就職を促すため、市はどのような取り組みを実施しているか伺う。

〔答弁〕 進学による若者の流出は本市において顕著であり、少子高齢化や労働力不足を解消し地域を活性化させるためには、若者をどれだけ呼び込むことが出来るのかが重要である。

本市では、「観音寺市・三豊市合同就職説明会」の開催や、市内企業の職場情報を掲載した「企業ガイドブック」の作成を通じて、マッチングの促進や認知度向上を図っており、大学や高等学校などへのチラシ配布や人材求人情報サイト「ワクサポかがわ」登録者への案内、ホームページやSNSへの掲載などで広く周知に取り組んでいる。また、企業の採用力向上のため、民間の人材会社と連携した採用支援セミナーも開催している。

今後は新たに、市内企業と就職希望者がお互いに情報発信できるLINEオープンチャットの創設を予定している。



三好 優子
無所属

市長公約の一つである「観音寺駅舎の橋上化」を問う

答 弁

老朽化が著しい駅舎は利便性を向上する必要がある

〔質問〕 市民から「駅舎の橋上化は立地的に不可能ではないか？」との声を聞く。「高架駅」と「橋上駅」の識別と橋上化の必要性についての考えを問う。

〔答弁〕 「高架駅」とは、線路とプラットホームを含む駅設備を高架構造の上に乗車するものである。本市では、東西に既設している跨線橋※5の解体など、市道や県道の再整備に伴う事業費が高額になり、現実的ではない。

一方、公約に掲げた「橋上駅」とは、線路は地上に敷かれたままで、改札口や切符券売機、待合所などの設備を陸橋の上に整備するもので、線路で分断されていた北と南の地域間を歩行者や自転車で行き来できるようにする。事業費についても高架駅に比べ大きく抑えられる。

観音寺駅舎は、築後60年余りが経過し老朽化が著しく、バリアフリー化にも対応していないため、利用者の利便性向上を図る必要があると考えている。



合田 千佳子
創風会

中学生と赤ちゃんのふれあい事業を提案する

答 弁

調整を図りながら検討する

〔質問〕 高松市では、市立中学校の希望校にて、命の大切さや親子の愛情の深さ、家庭の大切さなどを学び、次世代の親として子育てに自覚を持つよう、中学生と乳幼児とのふれあい体験事業を実施している。

生徒は、実際に親子と触れ合い、保護者が赤ちゃんをどんなに大切にしているか目の前で見ること、自分も大切に育てられているという自己肯定感や安心感を持つことができる。また、乳幼児の保護者にとっては「今はこんなに小さい赤ちゃんが、こんなに大きく育つんだ」と成長過程の見通しを持つことができ、子育てを想像する手助けにもなる。さらに「家庭や子どもを持つことのイメージを持てる」「お父さん、お母さんへの感謝の気持ちが芽生える」「命の尊さや相手を思いやる心を育むことができる」「家庭や地域においてコミュニケーションを持つようになる」などの効果もあると良い取り組みのため、本市での実施を提案する。

〔答弁〕 赤ちゃんとのふれあい事業は、生徒だけでなく、乳幼児とその保護者にも効果があると考えている。今後、ご協力いただける地域の子育て支援団体があれば、学校などと調整を図りながら検討していきたい。



※5 鉄道線路の上にもたがってかけた橋。



大久保隆敏
立志会

五郷山公園の整備について

答 弁 引き続き市民の憩いの場となるよう努める

〔質問〕五郷山公園は、旧大野原町時代にトイレ・駐車場・展望台・園内道・アスレチック施設が整備され、多くの人達が利用していたが、萩の丘公園の整備後は利用者が激減した。現在、トイレや駐車場付近は管理されているが、園内道や展望台は荒れ放題であり、市民の皆さまから、以前のように森林浴や散歩が出来る公園に整備して欲しいと要望があるが見解を伺う。

〔答 弁〕当公園は、大野原町の井関池に隣接する、面積3万8736平方メートルの公園である。園内の展望台からは燧灘を一望でき、春には700本もの桜が満開に咲き誇る。また、部分林の功労者である高丸伊平氏の銅像と石碑が建っている。

園内道路は草刈りや剪定にて維持管理を行い、案内看板の設置や展望台からの眺望改善にて利便性を向上し、今後も五郷山公園が市民の皆様の憩いの場となるよう努める。



篠原重寿
立志会

維持管理が困難な水路への対策を

答 弁 現在の支援制度活用と併せて、国・県へ制度創設を要望する

〔質問〕農道・水路は平成17年以降、所有と管理が市に委譲された。しかし、日常の維持管理は地域の水利組合、自治会などが担っている。①農家減少、自治会加入率低下に伴い「井出さらい」ができない悪水中心の水路では、悪臭が発生し、災害時の排水処理にも影響を及ぼす恐れがある。現在の管理状況は。②現状を踏まえ市としての対策が必要と思われるが、市の考えを伺う。



〔答 弁〕①生活道路や水路は、普段利用している地域の人々が、草刈りや清掃を行うのが原則になっている。しかし、農家の減少や自治会加入率の低下により維持管理が困難な場合も考えられる。市の支援としては、道路や水路の改修事業に対して、60%の費用補助（上限90万円）と、自治会らが農道などの維持管理に使用する材料（花崗土、生コンなど、上限20万円相当）を支給している。②現在の支援制度の活用と共に、全国的な課題と捉え、市長会などを通じて、国や県に新たな支援制度創設を要望していく。



藤田 均
無所属(共産)

大野原公民館職員の1名増員を提案

答 弁 市民学習権保障のためにも適正配置に努める

〔質問〕公民館統合や職員減の中、改めて公民館の役割を問う。大野原公民館は最近1人職員を減らし現在4人体制。増員して適正な配置を求めたい。

〔答 弁〕公民館は、生涯学習や地域交流活性化の拠点である。各館の事業内容や業務量の変化に応じて、適正な配置に努める。



のりあいタクシー説明会の手応えと今後の展望は

答 弁 ご意見・ご期待をいただき手応えを感じている

〔質問〕地元説明会に参加して篤い思いを感じた立場から問う。①導入理由と説明会の手応えは。②国の補助などの活用は。③今後の展望は。

〔答 弁〕①五郷地区のバス利用者減少、一部が乗り入れ困難地区であることが背景。説明会の手応えはあり、ご意見を反映して乗降場所や便数を追加した。今後も随時改善する。②地域公共交通確保維持改善事業費補助金など、国の補助や支援の申請を今後検討する。③新しい移動手段への転換と併せてバス路線の再編にも取り組む。





伊丹 進二
自民新政治家

市内の売り地・売りの現状を問う

答 弁 空き地・空き家が増加傾向にあり苦慮している

〔質問〕近頃、市役所と自宅を行き来する間だけでも、売地・売り家の看板が目立つように感じるが、市内の現状を問う。

〔答弁〕令和6年9月時点で、総住宅数27550戸のうち、普段居住していない物件は5120戸であり、さらにこの中で賃貸用や売却用の二次的住宅を除いた使用目的の無い物件は2680戸である。空き家は増加傾向にあり、対策に苦慮している。雑草が繁茂し、衛生状態が悪いなど、空き地の苦情や相談が年々増加している。

若者世代の新築住宅建築時の優遇策を問う

答 弁 新たな補助を追加し、定住促進・子育て世代支援・住宅の省エネ化を進めている

〔質問〕人口増加への策として、新築住宅建築時の補助、特に若い世代への優遇施策について本市の状況を問う。

〔答弁〕令和5年度より、定住促進、子育て世代の支援、地域の住宅の省エネルギー化を進めるため、従来からの太陽光発電システム、設置型蓄電池に加え、ゼロエネルギーハウス※6、電気自動車充電設備にも補助を行っている。また、ゼロエネルギーハウスについて、40歳以下の申請者には補助の上乗せも行っている。



合田 隆胤
無所属

フードリボンプロジェクト※7支援事業を問う

答 弁 状況を確認し、できるだけ早く対応する

〔質問〕他市町ではテレビや広報紙で大々的に周知され、子どもたちを守ろうという気概を感じる。本市では、今後どのような普及啓発を考えているか問う。

〔答弁〕市内の参加店は増えており、市ホームページやSNSへの掲載、子育て支援課窓口や子育て支援センターへの掲示、のぼり旗製作など、できるだけ早く対応する。

公平な選挙をたただす

答 弁 取締機関の依頼があれば協力している

〔質問〕令和5年4月の県議会議員選挙や令和6年10月の市議会議員補欠選挙では、買収・暴力・強制に該当するような、ポスターの剥落、のぼり旗の焼損、看板への落書き、冊子の抜き取りなどの事例があり、警察に届けたものもあった。根拠の無い噂の吹聴など印象操作や誹謗中傷、妨害行為も見受けられた。

〔答弁〕公職選挙法第7条より、選挙違反は検察官、都道府県公安委員会委員、警察官が判断し、市選管は取締機関ではない。取締機関から依頼があれば協力している。



掲載できなかった個人質問

氏名	質問件名
諛問 茂	<ul style="list-style-type: none"> ●小学4年生の脂質異常について ●インクルーシブ教育について ●認知症予防プログラムについて ●公立中学校の部活動について ●不登校、重大いじめについて
白川 雅仁	<ul style="list-style-type: none"> ●育休退園について ●福祉窓口への軟骨伝導聴覚補助イヤホンの導入について ●教職員の働き方改革の取り組みについて
大平 直昭	●投票率向上のための取り組みについて
石山 秀和	●期日前投票について
岸上 政憲	<ul style="list-style-type: none"> ●防災について ●観光資源活用について
三好 優子	●防災について広く関心を持つための取り組みについて

氏名	質問件名
大久保隆敏	●市内にある先人の銅像・胸像について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ●働きやすい職場づくりについて ●持続可能な市財政運営について
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ●危険な有機フッ素化合物が基準値の2倍も検出されている件について ●大震災津波、高潮、豪風水害時における市役所や消防署の機能について ●県内市町の首長等が進める四国新幹線について
柳生 紘明	<ul style="list-style-type: none"> ●第2次観音寺市総合振興計画後期基本計画について ●観音寺市の財政について ●公共施設等総合管理計画について ●支援学校就学前の健康診断について ●森林環境譲与税基金の今後の運用について
合田 隆胤	<ul style="list-style-type: none"> ●一の宮公園の管理について ●豊浜町の老朽化した公共施設について ●人材育成について

※6 別名「ZEH(ゼッチ)」(=「net Zero Energy House」の略語) 太陽光発電などで創るエネルギーとバランスを取り、1年間に消費するエネルギー量を実質ゼロ以下にする家。

※7 一般社団法人ロングスプーン協会が運営。参加飲食店にて1つ300円のリボンが購入されると、店内に掲示され、子どもはそれを1つ取り1食分の食事の提供を受けられる。市内では現在3店舗で実施。

審 議 結 果

議案の審議結果

令和6年第4回（12月）定例会

※提出議案などの詳細は、市議会ホームページ「提出議案等」をご覧ください。

● 全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第61号	専決処分の承認について（令和6年度観音寺市一般会計補正予算（第6号））	承 認
議案第62号	観音寺市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第63号	観音寺市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正について	//
議案第64号	観音寺市中山間ふるさと・水と土保全対策基金条例の廃止について	//
議案第65号	観音寺市税条例の一部改正について	//
議案第66号	観音寺市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	//
議案第67号	観音寺市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について	//
議案第68号	観音寺市学校給食センター設置条例の一部改正について	//
議案第69号	教育委員会委員の任命について	同 意
議案第70号	公平委員会委員の選任について	//
議案第71号	農業委員の任命について	//
議案第72号	市道路線の変更について	原案可決
議案第73号	財産の処分について	同 意
議案第74号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第75号	令和6年度観音寺市一般会計補正予算（第7号）	//
議案第76号	令和6年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第77号	令和6年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第78号	令和6年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第79号	令和6年度観音寺市下水道事業会計補正予算（第3号）	//
議案第83号	観音寺市職員の給与に関する条例等の一部改正について	//
議案第84号	観音寺市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	//
議案第85号	観音寺市第1号会計年度任用職員の報酬等に関する条例等の一部改正について	//
議案第86号	観音寺市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	//
議案第89号	令和6年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第90号	令和6年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計補正予算（第1号）	//
議案第91号	令和6年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	//
議案第92号	令和6年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第93号	令和6年度観音寺市下水道事業会計補正予算（第4号）	//

● 賛否の分かれた議案

※議長には可否同数の場合のみ裁決権があります。
 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退席

議 案 名 等	議 員 名													議決結果									
	柳生 紘明	三好 優子	合田 隆胤	藤田 均	白川 雅仁	石山 秀和	篠原 重寿	大久保 隆敏	詫間 茂	岸上 政憲	大矢 一夫	伊丹 準二	豊浦 孝幸		土田 祐司	立石 隆男	篠原 和代	合田 佳子	金丸 康剛	大平 直昭	井下 尊義		
	無	無	共	公明党	立志会	自民	新政会	創風会															
議案第80号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第81号	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第82号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第87号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除 ○ 不 同 意
議案第88号	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※会派別五十音順 ※会派に所属していない議員…日本共産党、無所属

担当部署が抱える課題に取り組むことのできる専門人材を、地域おこし協力隊員として小豆島町が直接雇用することで、成果を生み出している。全ての隊員に担当部署の職員が1名サポート役として隊員活動のフォローを行うほか、隊員OB・OGとの相互交流の場を設けるなど、受け入れ体制を充実させて円滑な隊員活動につなげている。

隊員2名からは「担当職員や関係団体などのサポートが充実しており、隊員活動に専念できる環境が整っている」などといった隊員目線でのご意見を聞くことができた。

お知らせ 政策提言書を提出しました！

令和6年の総務委員会は「本市における地域おこし協力隊制度の運用状況及び事業評価」をテーマに掲げ7月以降定期的に委員会を開催し、自治体による専門人材の地域おこし協力隊としての雇用、地域に根ざした活動の支援を調査研究しました。調査は、5月に視察した京都府綾部市のコミュニティナース事業や、上記の小豆島町の取り組みなど他市町の事例と本市の実情との比較を中心に行いました。

そして5度の委員会開催を経て、調査報告書と政策提言書「地域おこし協力隊事業継続に向けた提言」を作成し、市議会として11月に市長へ提出しました。この中には、隊員を市が直接雇用する「雇成型」の導入検討や隊員の受け入れ体制の充実を求めるなど、全11項目の提言が盛り込まれています。市議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

市議会ホームページ「令和6年 政策提言」→



総務委員会が行った「所管事務調査」とは・・・？

常任委員会が自主的に各委員会の受け持つ事務について行う調査のこと。地方自治法第109条第2項には、「常任委員会は、その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する。」と規定されています。

3月定例会の予定

26日	18・19日	14・17日	12・13日	10・11日	3日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

広聴広報委員会

委員長	岸上 政憲
副委員長	篠原 重寿
大平 直昭	白川 雅仁
合田千佳子	土田 祐司
柳生 紘明	

編集後記

12月の定例会の一般質問では、市民生活に直結する課題について18名の議員が登壇し、51項目にわたり質問しました。
特に市民の関心が高い新「道の駅」については、新道の駅調査特別委員会の設置後、市議会議員全員参加で意見を市当局とぶつけ合っております。
広聴広報委員会では「開かれた議会」の足掛けとなるよう、市民フォーラムや意見交換会のみならず新たな取り組みにも挑戦していきたいと考えております。
今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。

広聴広報委員長 岸上 政憲

